
茨城県立医療大学大学院
保健医療科学研究科
博士前期課程入学試験問題

専門科目
(看護学専攻)
問題冊子

令和3年1月31日

10:50 ~ 11:50 (60分)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開けないでください。
2. 専門科目の試験の配付物は、問題冊子(4頁)、解答用紙(2頁)です。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 「メモ欄」は下書き等自由に使用してください。

<看護学専攻>

専門科目

問題 以下の設問から一つを選び、論じなさい。

設問 1 厚生労働省は、2019（令和元）年 10 月 15 日に「看護基礎教育検討会報告書」において次のような背景および目的のもと、教育の見直しのポイントを提示している。

看護基礎教育検討会報告書の概要

◆背景および目的

・人口及び疾病構造の変化や療養の場の多様化等を踏まえ、地域医療構想の実現や地域包括ケアシステムの推進に向け、多職種が連携して適切な保健・医療・福祉を提供することが期待されており、その中で看護職員には対象の多様性・複雑性に対応した看護を創造する能力が求められている。

・看護職員をとりまく状況の変化及び現在の教育実態を踏まえ、将来を担う看護職員を養成するための看護基礎教育の内容と方法について、現行の養成課程の枠組みを維持しつつ、具体的な検討を行った。

◆教育内容等の見直しのポイント(看護師)

・総単位数を 97 単位から 102 単位に充実

・情報通信技術 (ICT) を活用するための基礎的能力やコミュニケーション能力の強化に関する内容を充実

・臨床判断能力等に必要な基礎的能力の強化のため解剖生理学等の内容を充実

・対象や療養の場の多様化に対応できるよう「在宅看護論」を「地域・在宅看護論」に名称変更し、内容を充実

・各養成所の裁量で領域ごとの実習単位数を一定程度自由に設定できるよう、臨地実習の単位数を設定

問題

上記の看護基礎教育検討会報告書の概要を読み、自身の専門看護領域において、①現在の教育の課題と、②今後どのような看護学教育であるべきか、について自分の考えを 800 字以内で述べなさい。

出典:看護基礎教育検討会報告書の概要 厚生労働省

2019(令和元)年 10 月 15 日

<https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000557242.pdf>

設問2 次の文章は、日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会による『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 看護学分野』の一部であり、看護学固有の特性のひとつとして「関連学問領域とのつながり」について述べたものである。

この文章を読んで、あなた自身の看護実践を具体例として「看護学の学際性」について、800字以内で述べなさい。

「人間」という複雑系を理解し、健康に関連したアプローチを体系化するに当たって、看護学は人間理解や援助にかかわる複数の学問領域で蓄積された知識体系を取り込んできた。医学はもちろんのこと、心理学、行動学、社会学、文化人類学、教育学、生活科学などの関連諸科学はもとより、多くの学問領域の影響を強く受けながらそれらを看護学の方法論に融合させてきた。例えば医学分野からは、疾病の成り立ちと診断・治療過程、疾病予防等を学修しそれを活用して必要な看護を創出する。また人間理解においては幅広い学問領域の知識を基盤として看護学独自の人間理解に挑戦する。高齢化社会の進展により、医療と福祉を分けずに融合させる生活視点の専門的な看護が求められている。看護学は、生活科学などの関連諸科学と、教育・研究・実践における連携や協働を進め、周辺領域とのつながりの中で新たな実践を開発していく必要がある。

学問領域だけでなく、患者などの当事者自身の体験世界から学ぶ知見は看護にとって極めて重要である。当事者からの学びは今後看護学の広がりをもたらすと思われるが、その方法は、今後の課題といえる。

<出典> 日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会. 『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 看護学分野』. p.6. 2017年.)

「メモ欄」